

〇〇もんずら

正義とは？

NHK連続テレビ小説『あんぱん』第63話

逆転しない正義～復員した嵩、のぶと再会

のぶ：うちは・・・子供らあに取り返しのつかんことをしてしもうたがや。

うちは・・・生きちゃってえいがやろか。

嵩：のぶちゃん、死んでいい命なんて一つもない。ぼくもどうすればよかったのか、そればかり考えていたけどわからない。それをこの先もずっと自分に問い続ける事しかできない。正しい戦争なんかあるわけがない。まやかした。まやかしの正義で、大勢の仲間や千尋を失った。だから、正義なんか信じちゃだめだ。でも、もし逆転しない正義があるとしたら、全ての人を喜ばせる正義、ぼくはそれを見つけない。何十年かかっても、みんなを喜ばせたい。そう思ったら生きる希望が湧いた。絶望なんかしてられないって。



正義とは何だろう。戦時の飢え、死と隣り合わせの恐怖、価値観の崩壊、極限状態を生き抜いたやなせたかしさんが、正義や命について考え抜いた末に生み出した主人公がアンパンマンです。「本当の正義とは、お腹が空いている人に、食べ物を分けてあげることだ。」困った人や傷ついた人がいると真っ先にかけつけて、自分の顔を食べさせて元気を与える正義のヒーローの誕生は、やなせさん54歳の時でした。

【梯久美子著：やなせたかし 参照】

この第63話が放映されたのは、6月23日。沖縄全戦没者追悼式が行われた日でした。戦後80年、慰霊の日。平和宣言、平和の詩が朗読され、平和を希求する沖縄の心が世界に発信されました。

村の戦没者慰霊碑に向かいました。東通村体育館の駐車場南側丘に建っています。東通村史によると戦没者は265名。その中で昭和12年からの日中戦争、昭和16年からの太平洋戦争の戦没者が254名です。17歳から40歳、死亡場所は満州・中国本土・北太平洋・ソ連・東南アジア・南太平洋の島々を含む広大な地域。敗色濃厚になった時期以降の戦没者が多く記録されています。伯父の名前がありました。シベリヤハバロフスク病院で亡くなっています。25歳でした。父は捕虜になって収容所にいた話以外は一切語りませんでした。

戦後80年。8月6日、8月9日、8月15日は追悼と祈りそして記憶を紡ぐ日です。